

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部 会 名	小学校 体育部会

1 提案テーマ

「進んで運動に取り組み、お互いに学びを高め合う体育学習」～器械運動の学習を通して～

2 単元(題材)

器械運動 跳び箱運動

3 学年

第6学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

② 運動に親しむ資質や能力及び体力向上を目指した指導と評価の工夫

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第9節 体育 第2 各学年の目標及び内容 [第5学年及び第6学年] 2内容 B 器械運動

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その技ができるようにする。

ウ 跳び箱運動では、基本的な支持跳び越し技を安定して行うとともに、その発展技を行うこと。

(2) 運動に進んで取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(3) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫できるようにする。

6 実践に向けての課題意識

事前に行ったアンケート調査の結果より児童の実態として、ほとんどの児童が体育を好きと答えたが、跳び箱運動が好きではないと答えた児童は全体の半数であった。体育の時間に運動がうまくなったと感じていない児童や、めあてをもちずに学習に取り組んでいる児童も数名いた。また、運動がうまくなるのに友達のアドバイスが役立つ、友達に褒められることで運動が楽しいと感じると答えた児童が多かった。そこで今回は、跳び箱運動が得意な児童だけでなく、跳び箱運動が好きでないと答えた児童も意欲的に学習に取り組めるように、相互評価等の学び合いを通して、一人ひとりの自己有用感を高め、技能や意欲等の向上につなげた。

7 実践の概要

- ・相互評価等の学び合いを積極的に取り入れ、自己有用感を高める工夫を行った。
- ・学習カードに友達からの励まし、アドバイス等を集める欄を設けた。
- ・相互評価を活発化するために道徳との関連を図り、帰りの会等で友だちへの「光る言葉」を集める活動を行った。
- ・ビデオ撮影で自分の動き、友達の動きを繰り返し確かめられるようにした。
- ・掲示物、ビデオ等で技のポイントを明確にし、めあてをもちさせる工夫を行った。
- ・それぞれのめあてに合った練習コーナーを設けるなどの場の工夫を行った。

8 成果と課題

友達と教え合い、励まし合う機会を増やすことにより、運動が楽しくなった、運動がうまくなったと感じる児童が増えた。めあてを明確にすることで、自らの学習の高まりが実感できるとともに、友達へアドバイスする際や褒める際の視点を与えることができた。また、道徳で行った「光る言葉」と関連させたことで、励ましやアドバイスの言葉が自然な形で出るようになった。事後のアンケートの結果からは、友達同士の教え合いの場が多くなったことで、教師のアドバイスが役に立つと答えた児童が減り、友達のアドバイスが役に立つと答えた児童が増加した。授業の様子からも、児童同士で運動の仕方を考え、教師から教わるだけでなく、自ら運動に取り組む姿が見られるようになった。

9 予想される協議の柱

- ・意欲が高まり、思考・判断、技能の向上につながる相互評価等の学び合いの在り方について